

第47回総合リハビリテーション研究大会

テーマ：教育を総合リハビリテーションの観点から考える—特別支援教育とこれからの教育を改革するために

日程：2025年12月20日(土)、21日(日)

会場：戸山サンライズ 2階大研修室(東京都新宿区戸山1-22-1)

参加費：一般：3,000円、学生：1,000円(介助者などの参加費は無料)

*手話通訳、要約筆記、点字資料、テキストデータ(視覚障害・読字障害などのある方)あり

主催：公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
大会プログラム：

【12月20日(土)】

- 基調講演「教育を総合リハビリテーションの観点から考える—特別支援教育とこれからの教育を改革するために」
松矢勝宏(東京学芸大学、本大会実行委員長)

- 鼎談「これからの教育の改革に向けて」

菊地一文(弘前大学、全日本特別支援教育研究連盟副理事長)、山中冴子(埼玉大学、全国障害者問題研究会研究推進委員)、松矢勝宏

- 各コーディネーターからの紹介 4つのセッションの大会テーマとのつながり

1「不登校の理解と支援」伏見 明(東京都教育庁都立学校特任相談役)、2「発達障害の理解と支援の実際を考える」藤野 博(東京学芸大学)、3「進路選択支援の実際と課題」田中裕一(神戸女子大学)、4「障害者の生涯学習支援の実際」松矢勝宏

- セッション1「不登校の理解と支援—不登校経験者の報告から学び、支援のあり方を考える」

話題提供者：不登校経験者(10代大学生)、不登校経験者(10代大学生)、不登校・ひきこもり経験者(50代男性)、不登校経験者の親、井村良英(認定NPO法人育て上げネット)、コーディネーター：伏見 明

【12月21日(土)】

- セッション2「発達障害の理解と支援の実際を考える—本

人主体によるサードプレイス(第三の居場所)の実践を通して」

話題提供者：関根礼子(当事者、NPO法人ネスト・ジャパン)、綿貫愛子(当事者、NPO法人東京都自閉症協会、世田谷区受託事業みつけばハウス)、コーディネーター：藤野 博

- セッション3「進路選択支援の実際と課題」

話題提供者：当事者(大学生)と親、当事者(放課後等デイサービス事業所)、小出隆司(全国手をつなぐ育成会連合会、静岡県手をつなぐ育成会)、関哉直人(関哉法律事務所 弁護士)

コーディネーター：田中裕一

- セッション4「障害者の生涯学習支援の実際」

パネルディスカッション1「相模女子大学と相模原市との連携によるインクルーシブ生涯学習プログラムの開発と実際」

話題提供者：武部正明(相模女子大学)、インクルーシブ生涯学習プログラム開発協力チーム(当事者および学生、卒業生)、コーディネーター：松矢勝宏

パネルディスカッション2「障害者の生涯学習支援の実際とこれから」

話題提供者：手塚由美(一般社団法人輝水会)、工藤傑史(東京福祉大学)、松矢勝宏、コーディネーター：藤野 博

申し込み方法：研究大会ウェブサイト(<https://rehab-hp.normanet.ne.jp/2025/>)のフォームでお申し込みください。または、申し込み用紙(申し込み必要事項)に記載のうえ、E-mail/Faxにてお申し込みください。
※上記方法でのお申し込みが困難な場合は下記事務局までお問い合わせください。

問い合わせ先：第47回総合リハビリテーション研究大会事務局

〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会内

Tel: 03-5273-0601 Fax: 03-5292-7630

E-mail: rehab@dinf.ne.jp